



「患者さんと同じ目線のチーム医療」を 強力に推進。電子カルテで診療と検査を連動させ、 素晴らしい効果を挙げています。



BML

内科(内分泌疾患<甲状腺・糖尿病・生活習慣病>)

●医療法人三幸会 さつき内科クリニック様(埼玉県比企郡小川町)

柳澤 守文院長は小川赤十字病院の第2内科部長として、12年間にわたり陣頭指揮に当たってきましたが、患者さんと同じ目線に立った、更に丁寧な診療を実施したいとの強い思いから、2005年5月に同クリニックを開院。糖尿病・甲状腺疾患など代謝疾患の専門医として、その豊富な知識と実績をもとに地域医療の発展に貢献されています。同クリニックの特長は医師・糖尿病療養士の資格を持つ看護師・臨床検査技師・運動療法指導士の資格を持つ管理栄養士による《チーム医療》の推進にあります。そのために欠かせないのが電子カルテシステム。「特に糖尿病は検査とともに、できるだけ血糖を上手にコントロールすることが重要。その点、信頼できる検査センターのBML製だから安心して導入しました。診察室ではペンタブレットを使用。実際に目の前で絵を書いて病状を説明できるので、患者さんにも理解しやすいと好評です。電子カルテは未体験でしたが、使ってみてその便利さに感心。診療と検査を絶妙に連動させることで、より高度な《チーム医療》を実現したいですね」(柳澤院長)

現在、受付に3台、診察室に2台、処置室に1台、院長室に1台、栄養指導室に1台、受付にダブルサーバーの構成により電子カルテシステムを運用。「患者さんと同じ目線のチーム医療」を、明るく、親切、笑顔、丁寧の姿勢のもとに実践する同クリニックを力強く応援するのがBMLの《メディカルステーションクリニック》です。

患者さんに、お医者さんに
うれしい電子カルテ。

